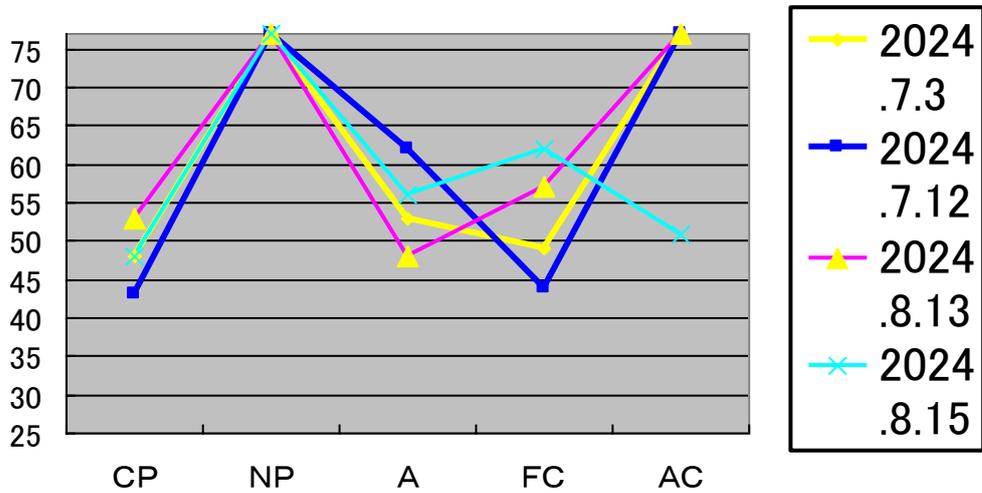


17歳の高校生の心理変化



当 NPO 法人静岡県教育フォーラムは、県立静岡中央高校通信制課程の「学外における学修団体」として当該課程の高校生が、当フォーラムの日本語を母語としない子どもたちの日本語初期支援や不登校・ひきこもりの青少年の野外活動支援に、ボランティアとして一定時間従事すると高校の単位として認定される事業に、かれこれ 20 年以上携わっている。

2024 年度のその事業に参加した 17 歳の女子高校生の心理変化である。彼女はまず 7 月 3 日から 7 月 12 日まで、菊川小笠教室で日本語を母語としない子どもたちの日本語初期支援の補助をボランティアとして参加頂いた。その時の初日と最終日の心理分析が以下の通りである。

7 月 3 日

NP（母性）と AC（順応性）がとても高く、優しい人だが、イイ子ちゃんでいたい気持ちも強く、常に人の顔色をうかがっている人と言える。人が自分をどう思っているかに敏感で神経質になる面もある。与えられた仕事などはまめにこなしていくタイプだから、ある程度重宝がられる。

しかし、中程度の FC（感性）で気持ちの切り替えはそれほどうまくないので、ストレスを溜めやすい人とも言える。自律神経失調症の人に多いパターンである。

他人のために使うエネルギーを自分のためにも使おう。まずは、気分を素早く切り替えるようにする。「不快な気持は 3 分まで！」と自分に言い聞かせて、毎晩寝る前に「今日、こういういいことがあった」と一日を思い返す「よかった探し」をする（CP—父性と A—知性と FC の成長）。きっといい夢が見られる。

7 月 12 日

NP（母性）とA（知性）、AC（順応性）がとても高く、CP（父性）とFC（感性）が中程度から、物事を冷静に捉えることができるが、事実だけを重んじるのではなく、義理や人情にも厚い人である。また、相手の助言を素直に受け入れられる心も持ち合わせている。相談相手として重宝されるパターンである。

ただ、とてもいい人だが、ACが高すぎて、強引さや最後のひと押しに欠ける側面がある。だから、このタイプが友達であったり、上役の場合はやきもきさせられるかもしれない。

FCを上げるように心がけるとよい。自分の言いたいこと、したいことを口に出せるようになる（FCの成長）と、ACも自然に下がり、人からもっと頼りにされる、とアドバイスした。

上記の彼女のエゴグラムには、父性（CP）と感性（FC）が異常に低く、順応性（AC）が異常に高い、という不登校生にみられる特徴がそのまま出ており、不登校の素因が解消されていない状態であった。彼女からもその旨の相談を受け、8月13日から15日に長野で行われた交流合宿に誘い、その解消を試みた。

8月13日、この日の心理分析は7月3日（黄色のエゴグラム）とほぼ同じだったが、交流合宿初日にして既に感性（FC）が高くなり始めていた。

そして、僅か2日後の8月15日の水色のエゴグラムに、解消プログラムの成果がはっきりと表れた。

即ち、FC（感性）がとても高くなり、元々高いNP（母性）から思いやりがあっても世話好き、いつも笑顔を絶やさない、楽家タイプになり、こうなると好意を寄せる人も多くなる。

元々中程度のCP（父性）で特に人と衝突することもなく、人付き合いは良好。年上からも可愛がられ、年下からは相談を持ちかけられ、常に周りには人が集まるように変わった。A（知性）も上がり、自分を失いこともなく、冷静さを持つようになった。

しかし、FC（感性）がとても高くなったため、わがまま・自分勝手な側面も見えるかもしれない。今の良好な人間関係を続けて、毎日を楽しく過ごしていきたいなら、常にAを活用して自分自身を見つめる目を養うように、アドバイスした。